

目的	環境目標	環境活動計画
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量 2017～2019年度実績平均値より各年度とも1%以上削減	照明及び冷暖房は、必要箇所及び必要時間を除き、消灯または停止し節電に努める。 照明器具の定期的な清掃を実施する。 エレベーターは使用を控え、2アップ、3ダウンは階段を利用するよう努める。 冷暖房温度の適正管理（冷房28度、暖房19度）に努める。 冷暖房装置の運転効率を高めるため、定期的にフィルターを清掃する。
	燃料使用量 電力使用量削減目標に同じ	公用車の運行は、省エネ運転に努める。 附属学校園については都市ガスによる冷暖房のため、冷暖房温度の適正管理及びフィルター清掃を行う。
水使用量の削減	水使用量 電力使用量削減目標に同じ	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水する。 トイレの水流し音発生装置を利用し節水する。
紙使用量の削減	紙購入量 電力使用量削減目標に同じ	会議用資料、事務手続き書類の簡素化に取り組む。 通知、連絡等については、電子メールを利用し、資料は電子媒体で保存する。
一般廃棄物の発生抑制	廃棄物量 電力使用量削減目標に同じ	廃棄物は分別回収し、再資源化に努める。 使い捨て製品の使用や購入の抑制をし、詰替え可能な製品の使用に努める。
化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	化学物質の適正管理を徹底する。
環境に関する教育	環境マインドを持った人材育成	環境保全に関する啓発を推進する。